

初期設定後に、IPCC Express 管理者がログインできない

目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[背景説明](#)

[問題](#)

[解決策](#)

[関連情報](#)

[はじめに](#)

このドキュメントでは、Cisco IP Contact Center (IPCC) Express 3.0 (3a) のインストール後に、IPCC Express 環境で管理者のログインが失敗する問題と、その回避策について説明します。

注: この資料に説明がある問題は Cisco Unified Contact Center Express バージョン 3.1(1)で解決されます。詳細についてはこの DDTS を参照して下さい:

Externally found severe defect: Verified (V)
CRS administrator unable to login after CallManager 3.3(2) upgrade

[前提条件](#)

[要件](#)

次の項目に関する知識が推奨されます。

- Cisco CallManager
- Cisco IPCC Express

[使用するコンポーネント](#)

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Cisco IPCC Express バージョン 3.0(3a)
- サービスパック F および以降の Cisco CallManager 3.2(2c)

- すべてのサービスパックとの Cisco CallManager 3.3(2)
- Data Connection (DC) ディレクトリ

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 (デフォルト) 設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

背景説明

管理者を割り当てられる最初のアプリケーション 管理 設定の後で Application Administration ページでログインしないで下さい。

Cisco IPCC Express 初期インストール プロセスは Cisco CallManager で作成されるユーザアカウントが管理者グループに追加されるユーザ メンテナンス ステップを完了します。これらのユーザアカウントは管理者の最初のログオンを取り替えることができます。Cisco Unified Contact Center Express 3.0(3a) では、デフォルト検索属性の動作は変更されます。このバージョンはアトリビュートが空であるかどうか確認します。DC Directory のデフォルト値は「メール」です。

問題

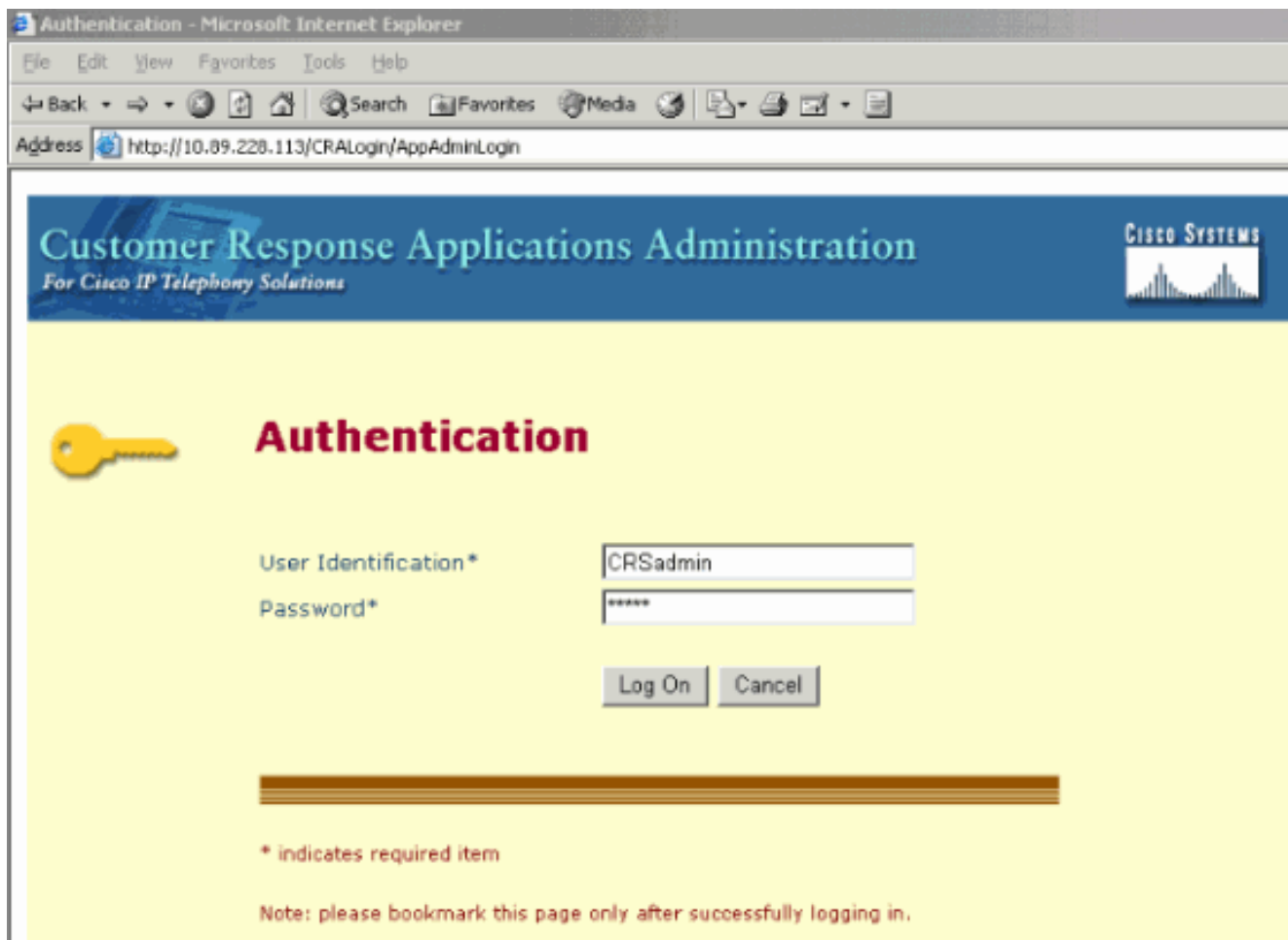
ログインする試みがあるとき失敗プロセスはそのように現われます:

1. アプリケーション 管理メイン メニューにアクセスするために Microsoft Internet Explorer の Address フィールドかクライアントPC の Netscape の Location フィールドでこの URL を入力して下さい:

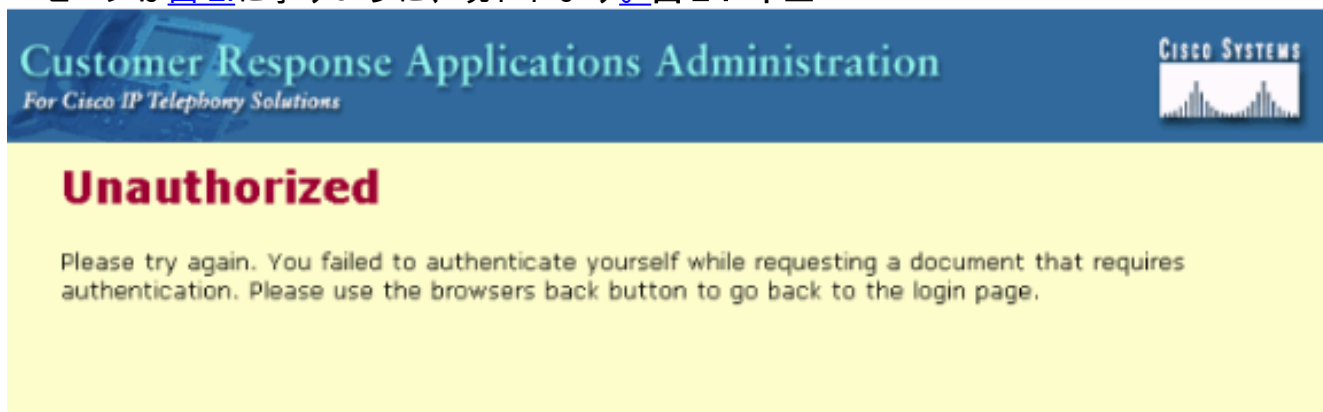
`http://servername/AppAdmin`

注: クエリはアプリケーションサーバのホスト名または IP アドレスです。

2. 認証ウィンドウは [図 1](#) に示すように、開きます。 [図 1: 認証](#)



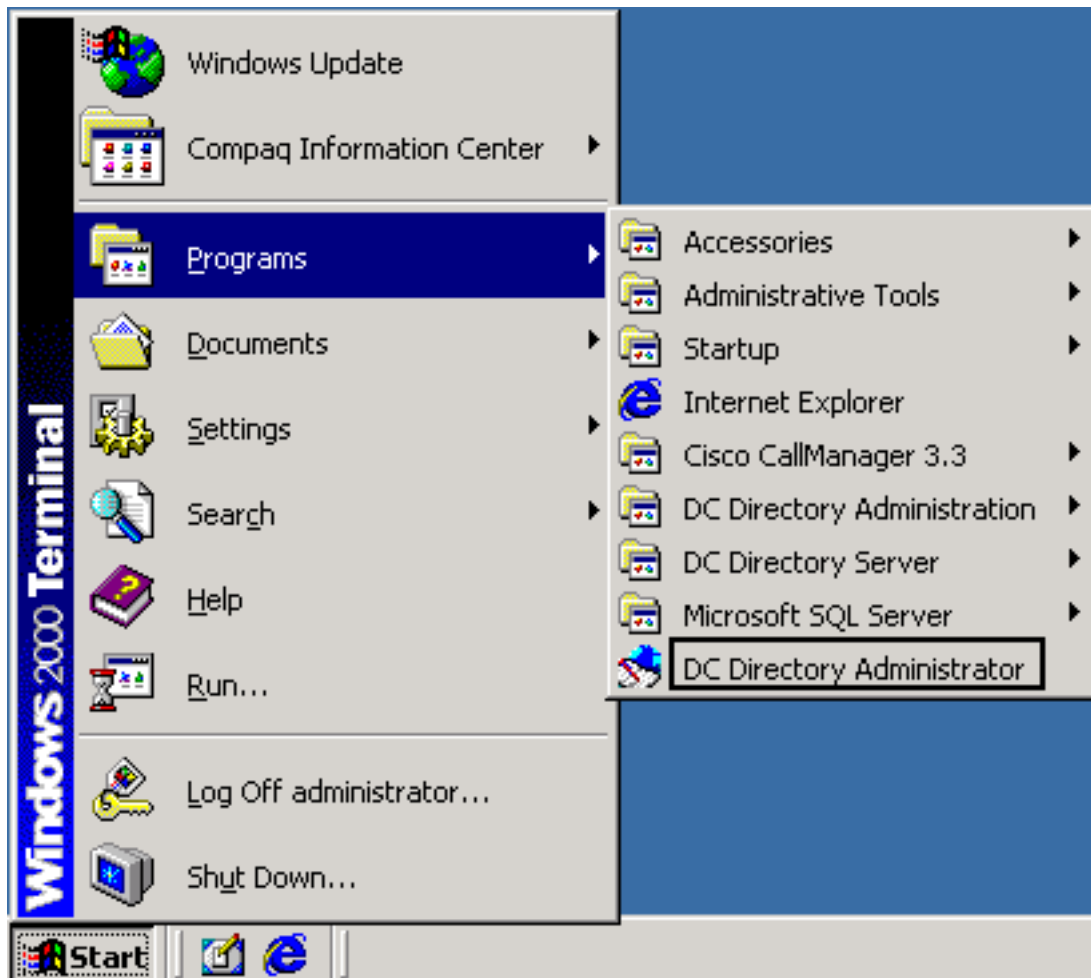
3. Login ウィンドウで Cisco IPCC Express 管理者名前およびパスワードを入力して下さい。
4. 『Log On』 をクリックして下さい。許可障害をログインすること当然 "Unauthorized" メッセージは [図 2](#) に示すように、現われます。 [図 2](#) : 不正



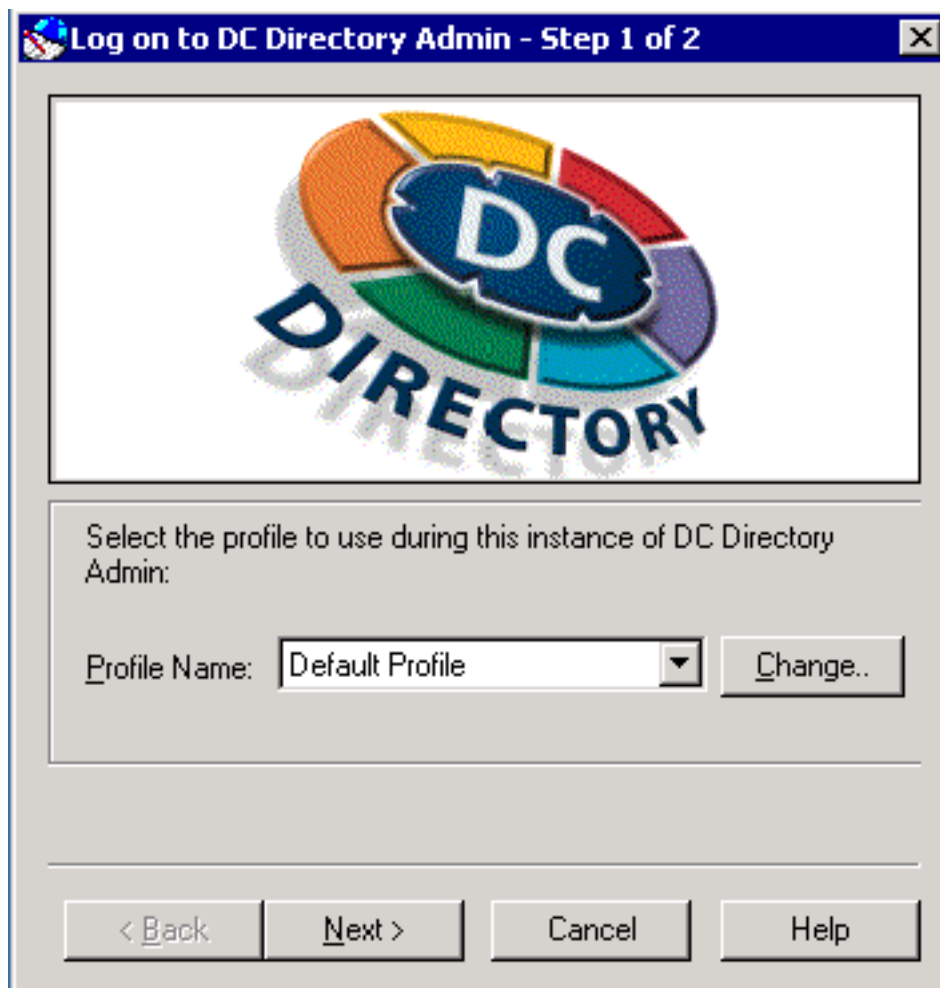
解決策

問題を解決するために、Lightweight Directory Access Protocol (LDAP) ディレクトリアトリビュートは追加する必要があります。これらの手順に従って下さい:

1. >Cisco CallManagerパブリッシャの DC Directory 管理者 『Start > Programs』 を選択して下さい。 [図 3](#) : 起動 DC Directory 管理者



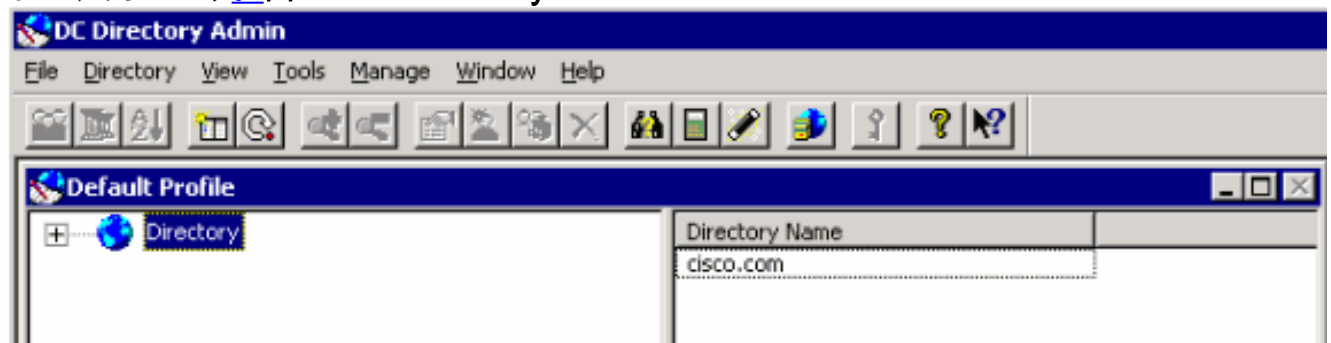
2. DC Directory Admin へのログオンは、2 ダイアログボックスのステップ 1 開きます。図 4 :
2 の DC Directory Admin -ステップ 1 へのログオン



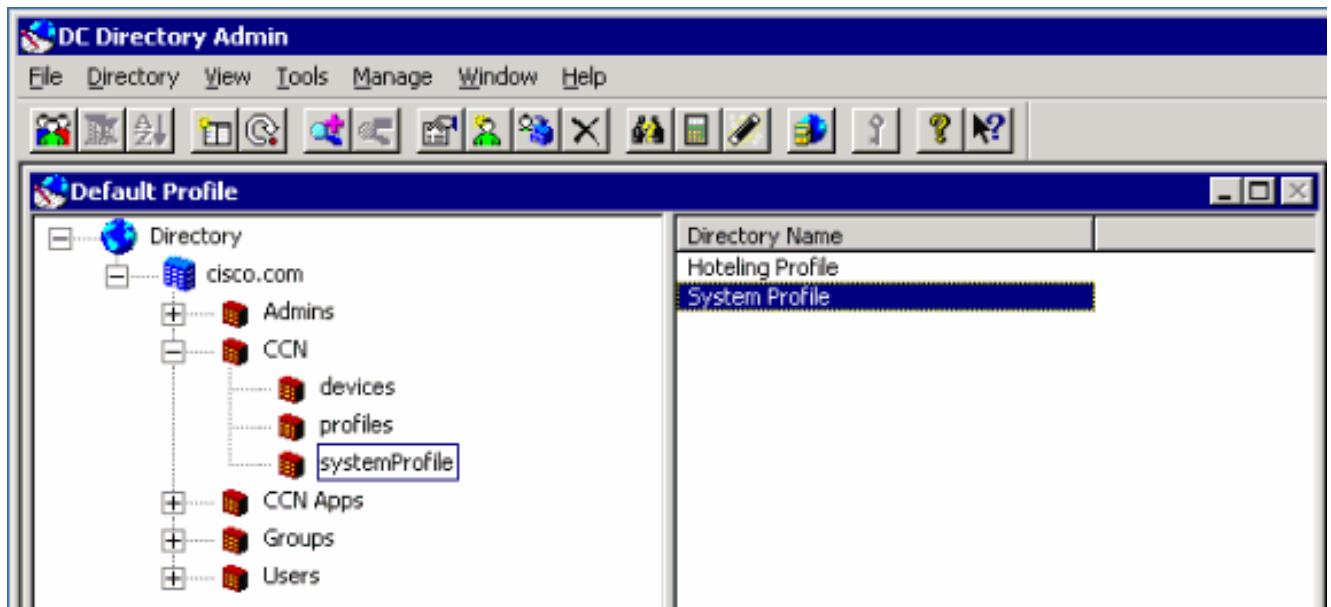
3. [Next] をクリックします。2 ダイアログボックスの DC Directory Admin -ステップ 2 へのログオンは、[図 5](#) 開きます。[図 5](#) : 2 の DC Directory Admin -ステップ 2 へのログオン



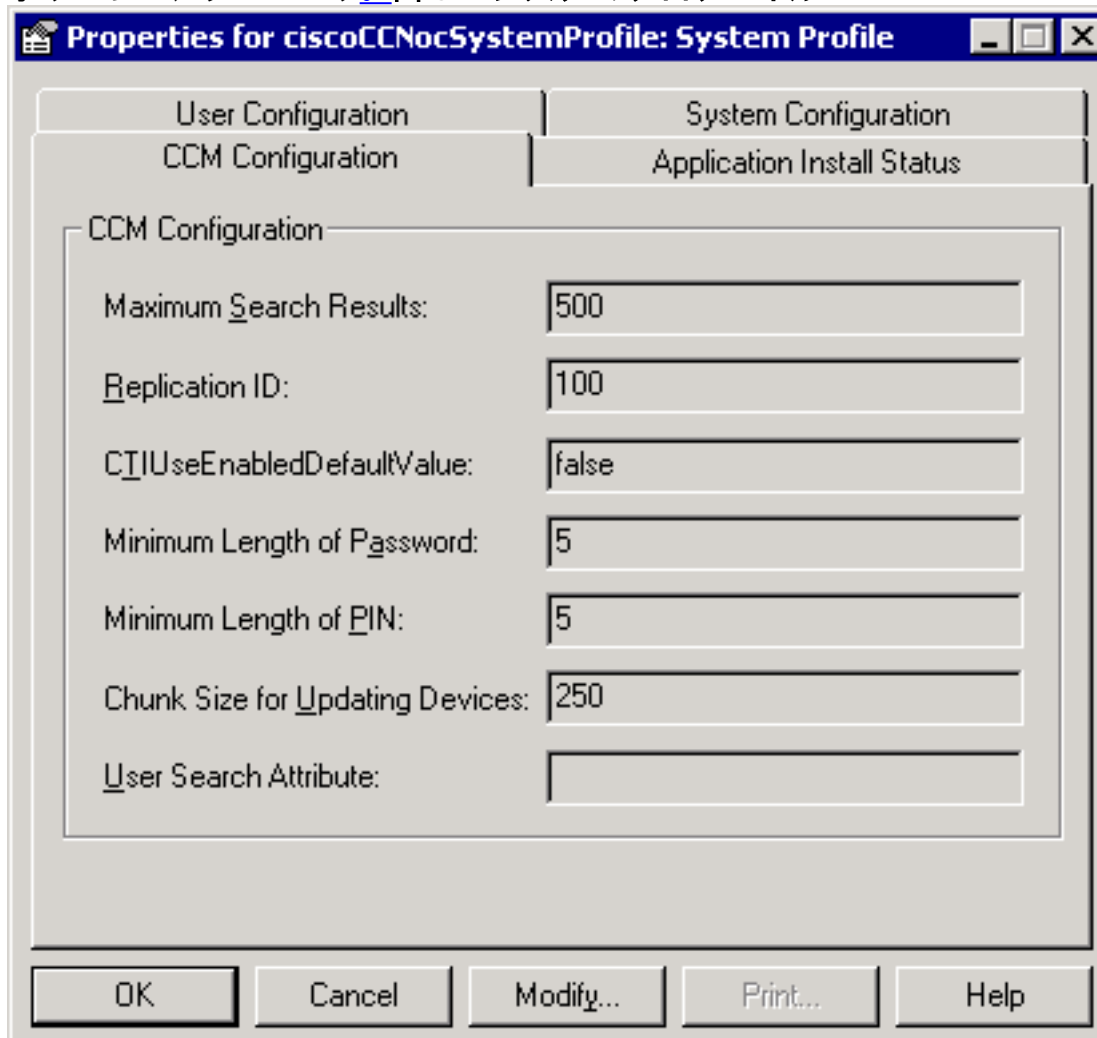
4. ディレクトリ マネージャとしてログイン。DC Directory Admin ウィンドウは [図 6](#) に示すように、開きます。 [図 6](#) : DC Directory Admin



5. ディレクトリ > cisco.com > CCN を拡張して下さい。
6. 左で『systemProfile』 をクリックして下さい。 [図 7](#) に示すように DC Directory Admin ウィンドウ リフレッシュ。 [図 7](#) : DC Directory Admin



7. 右のダブルクリックシステムプロファイル。System Profile ダイアログボックスは [図 8](#) に示すように、現われます。 [図 8](#) : システムプロファイル



8. **CCM Configuration** タブをクリックして下さい。User Search Attribute フィールドの内容が空でしたりまたはメールではない場合、『Modify』をクリックして下さい。 [図 9](#) に示すように System Profile ダイアログボックス リフレッシュ。 [図 9](#) : システムプロファイル

The screenshot shows a Windows-style dialog box titled "Properties for ciscoCCNocSystemProfile: System Profile". It has two tabs: "User Configuration" and "System Configuration". The "System Configuration" tab is selected, and within it, the "CCM Configuration" sub-tab is active. The "CCM Configuration" section contains the following fields:

Maximum Search Results:	500
Replication ID:	100
CUIUseEnabledDefaultValue:	false
Minimum Length of Password:	5
Minimum Length of PIN:	5
Chunk Size for Updating Devices:	250
User Search Attribute:	mail

At the bottom of the dialog box, there are five buttons: "OK", "Cancel", "Apply", "Print...", and "Help".

9. User Search Attribute フィールドでメールを入力して下さい。
10. [Apply] をクリックします。
11. [OK] をクリックします。
12. 許可を確認するためにアプリケーション 管理ログオンにアクセスして下さい。

関連情報

- [テクニカルサポート - Cisco Systems](#)